

寝屋川高校陸上競技部歴代最高

徳田 隼くん 400mH 全国インターハイ5位入賞



表彰台 左から5番目が徳田君

8月2日から北海道札幌市で開催された第76回全国高等学校陸上競技対校選手権大会において、徳田隼君（3年）が男子400mHで5位に入賞しました。

颯走

(さっそう)

寝屋川高校
陸上競技部
OB・OG

会報第28号

<http://www.neyagawa-rikujyo.net>



全国インターハイ

徳田 隼

今回の全国IHでたくさんの経験をし、成長出来たと思います。

ずっと目指していた全国IHに出場することができて、そこで5位に入賞を果たすことができたのは、たくさんの方々からの応援と励ましのおかげだと思います。心から感謝しています。

競技者としての道のりは険しいものでした。昨年は怪我であまり練習が出来なかった時期もあったりしてなにも結果を残せずに終わってしまいました。それからずっと頑張ってきましたが、ラストの高校シーズンが始まってすぐは不安でいっぱいでした。それでも4月に入ってからは自己ベストを更新し続け、自分でも想像出来なかったタイムや結果を残すことができました。

悔しさもどっちも味わうことができませんでした。予選準決勝と2度自己ベストを更新することができ、決勝進出が決まった時はとても嬉しかったです。しかし、その決勝で全く勝負できずに終わってしまったって日本一との差を身に染みて感じました。大舞台で走った3本はどれも本当に楽しかったです。最後に支えてくださった皆様、本当にありがとうございました。これからも次のステージで更なる成果を収めるために精進してまいります。ありがとうございます。

徳田は、入部当初全然目立たない子だったんです（笑）。

背は高いけどひよろつとしていて、前に出てくるよりも真ん中で群衆に囲まれているような。大阪IHが終わったばかりの6月頭の練習中に、ダッシュをする徳田を見て『お…。この子は短距離の方が向いてそうだな。』そう思い、短距離の方が向いてそうだと種目変更を問いかけると、即答でした。『よし。じゃあ、お前はヨンパーだ！朝練するぞ！強くなる気はあるか？』『はい。毎日、朝練します。』『じゃあ、明日から毎日俺と朝練して、毎日300m3本走るぞ』

『わかりました』

そこから、ぐんぐん伸びました。1年生の秋には、400mHで近畿6位になりました。2年次が楽しみだな…。と思っていました。しかし、2年次は苦しみました。何度も失敗させちゃったな…。と実感することもあり、監督として反省たいと思います。

させられました。しかし、彼の強かったところは、『お前はこんなところで終わるやつじゃない。お前はスケールでつかく、インターハイで戦える。そのために、オール15歩でいくんや。』

3年になり、ようやく筋力がその動きに追いついてきました。みるみる記録が伸び、見えてきた北海道。インターハイ。近畿IHの決勝に立つ姿を見た時に確信しました。あ、この顔はインターハイの決勝で戦える選手だ…。

陸上競技部顧問

山口 周

「59年ぶり」と「38年ぶり」そして「44年ぶり」

会長 奥田 二三夫(22期)

OB・OG会の皆様今日は。お元気でご活躍のことと存じます。

今年のプロ野球は大変盛り上がりました。WBCでの日本の金メダル獲得に始まり、公式戦が始まるとセパ共に関西の球団が躍進し、セリーグは阪神、パリーグはオリックスが優勝し、ついに「59年ぶり」となる関西ダービーが実現しました。これによる経済効果は1400億円以上と言われ、WBCの時の2倍を超えたようです。コロナ禍で続いた経済不況からの立ち直りに少し貢献できたの

ではないでしょうか。その日本シリーズは第7戦まで一進一退の白熱した試合が続き、最後は阪神が「38年ぶり」に日本一を達成して幕を閉じました。阪神ファングが長く待ち望んだ日本一が、ついに実現しました。

◇ ◇ ◇

そして寝屋川高校陸上競技部でも歴史に残る年となりました。前号で紹介しました徳田君が全国IHで見事5位入賞を成し遂げられました。全国IHでの入賞は32期生の古城君(十種競技元日本記録保持者)以来で、実に「44年ぶり」の

快挙です。彼は大学でも競技を続けるようで、今後は日本のトップクラスでの活躍を期待しましょう。

徳田君以外にも夏の大阪高校総体では、女子4×400mRでこれも「久しぶり」にリレーでの近畿大会出場を果たしてくれました。4×100mRでのバトンミスを乗り越えての出場だったそうで、精神力の強さと成長を感じる出来事でした。

その後の駅伝シーズンの皮切りとなる全国駅伝予選では、男女共によく健闘し昨年より順位を上げてくれ

ました。続く秋季大会では多くの種目で入賞を果たし、来年のシーズンに向けて明るい材料が山盛りです。皆様と共に期待しましょう。

このように母校陸上競技部の「充実ぶり」は頼もしい限りです。今後もさらなる向上を目指して活動が出来るように、施設面の整備や上位大会参加の補助など、OB・OG会としてできるだけ多くの支援をしたいと思っております。その為にも一人でも多くの会員の皆様の年会費納入を重ねてお願い申し上げます。よろしくお願ひ致します。

OB・OG情報

水島君(29期)がフィリピンで開催のアジアマスターズ陸上競技大会で、M65(65~69歳)100m2位、M65200m3位、M55(55~59歳)4継2位、M55マイル3位に入賞しました。



東大阪市記録会の現役生の記録を調べたら同じ組に南君(68期)が出演していました。別の日を調べたら塩谷君・古津君(共に42期)も出演していました。

若林さん(69期)が12月2日に香港で開催されるスカイランニングアジア選手権のスカイウルトラ競技※で日本代表チームに選ばれています。

※山岳を走る長距離レースで今回は累積標高差3400m、距離54km



事務局からお願い

OB・OG会は皆様からの会費・寄付で会運営・会報発行や現役生への援助を行っています。会費納付がまだの方は、同封の郵便振替用紙で会費・寄付の納入をお願いいたします。

事務局では記事・情報を募集しております。

記事・情報の件、住所変更や問い合わせ等はメール info@nyagawa-rikujo.net へお送りください。

このQRコードでメールの宛先が入ります。



編集後記

全国IH入賞の報告ができて大変うれしいです。

会長がリレーの近畿出場は「久しぶり」と表現されましたが「8年ぶり」で、女子リレーは「49年ぶり」、女子マイルは歴代初です。写真は正しく引用いたしますので著作権の問題はありません。

QRコードでスマホと連携してみましたのでご利用ください。



決勝スタート前の応援に答える徳田君(インハイTVの動画をキャプチャーして引用)

